

マラグロッタ廃棄物処理センター

【訪問先】 マラグロッタ廃棄物処理センター

MSW Sorting & Composting Plant Malagrotta

【所在地】 Viale Esperanto 74 00144 Roma

【本社所在地】 Via Pontina, 545-00128 Roma

Tel: +39 06 50780682 Fax: +39 06 50795519

E-mail: a.carrera@sctecno.com

【訪問日】 2004年10月19日(火) 午前

【対応者】 Dr. Ing. Alberto Carreta (Managing Director/Sorain Cecchini Tecno s.r.l)

1. はじめに

イタリアは国土約31万平方キロメートル、人口は約5,700万人の国であり、世界遺産を36(2003年5月現在)有する国である。

そのイタリア共和国の首都ローマは、人口約300万人、面積約1,300平方キロメートル。紀元前から栄えた永遠の都、歴代の皇帝たちの残した古代の建築物や由緒ある教会など古都の面影を強く残す一方、それらが近代建築と融合し、今も進化し続ける都市である。



コロッセオ

SCグループは、60年間で7,500万トンの廃棄物を処理しており、イタリア国内はもちろんのこと、ノルウェイ、フランス、スペイン、カナダなど世界に廃棄物処理業を展開しているグループである。

SCT社は、一日に500台のごみ収集車を稼動させ、一日あたり4,000～4,500トンのローマ市的一般ごみを収集し、マラグロッタ廃棄物処理センターで埋立、ガス発電、コンポスト、RDF、アルミ等の金属回収を行っている。ローマ市より一トンあたり60ユーロをごみ処理費として受け取って事業をおこなっている。



ごみ収集車

2. SCT社の概要

SCT社 (Sorain Cecchini Tecno s.r.l) は、一般ごみ、汚泥、産業廃棄物の収集、処理プラントの建設、運営を行っているSCグループ (Sorain Cecchini Group) の一社である。

3. マラグロッタ廃棄物処理センターの概要

本施設は、トラックスケール、メタンガス利用施設、埋立処分場、コンポスト施設、RDF施設、メタンガス発電施設で構成されている。

1) バイオガス利用施設

埋立処分場から発生したメタンガスを生成し、ごみ収集車、市営バスに利用している。ガスの注入ステーションは、8車線であった。ガス利用のごみ収集車は22台、市営バスは8台あるとのことであった。一回のガス注入で、250 Km程度走行するという話である。



ガスの注入ステーションとガス利用のごみ収集車

れる。可燃ごみは、RDFで固体燃料化されコレフェルト市にある発電所へ送られる。1,800トン／日の能力を持つ同様の施設を、同じ敷地内に建設中である。本施設の脱臭は、アイルランドの生物脱臭処理であった。

1,200トンの内、30%がRDF、10%がコンポスト、20%がバイオガス用埋立、残りはそのまま埋立処理されるということであった。



投入施設

2) 埋立処分場

埋立処分場は、1984年より稼動しており、埋立面積160ha、埋立容量2,500万m²である。



埋立処分場



破袋機



RDF 製品

3) コンポスト施設、RDF施設

本施設の能力は1,200トン／日で、投入施設で2台の遠隔操作シャベルで、破袋機にかけられ、有機系のごみと可燃ごみに選別される。有機系のごみは、コンポスト装置で肥料化され、ゴルフ場や公園で利用さ